

2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
1	Hidden Japan : An Astonishing World of Thatched Villages,Ancient Shrines and Primeval Forests	Alex Kerr	チャールズ・イー・タトル出版	2023	○		○	○	著者のアレックス・カーは東洋文化研究家。日本の自然や集落など美しい風景を切り取った『ニッポン巡礼』（集英社新書 2020年刊）が先に出版され、英語版はその内容を欧米の読者向けに書き下ろされたものです。どちらから読んでも楽しめます。
	ニッポン巡礼	アレックス・カー著	集英社	2020	○		○		
2	Pilgrimages in the secular age : from El Camino to anime	Okamoto Ryosuke ; translated by Iwabuchi Deborah, Enda Kazuko	Japan Publishing Industry Foundation for Culture	2019	○			○	近年では、宗教と直接関係のない場も聖地と呼ばれ、関心を集めています。人は何を求めてそこへ向かうのか？それは、どのような意味を持つのか？多様な事例から21世紀の新たな宗教観や信仰の在り方が見えてくるのではないのでしょうか。
	聖地巡礼 : 世界遺産からアニメの舞台まで	岡本亮輔著	中央公論新社	2015	○			○	
3	会いたい気持ちが動かすファンツーリズム : 「韓流」ブームが示唆したもの、「嵐」ファンに教わったこと	幸田麻里子, 臺純子著	流通経済大学出版会	2020				○	ドラマや映画、アニメなどの舞台を訪問する「聖地巡礼」だけでなく、俳優やアイドル（グループ）など、人を応援する「ファンツーリズム」も大きな広がりを見せています。海外の観光や異文化理解も含む、ファンの自身をも変えるファンツーリズムの「エンパワーメントの力」に驚かされるのではないのでしょうか。
4	海外名作映画と巡る世界の絶景	インプレス編集部編	インプレス	2019	○				映画を見て実際に行ってみたくなるロケ地や景色はありませんか？「ハリリー・ポッター」や「ローマの休日」など、海外名作映画のモデルやロケ地を紹介する一冊です。好きな映画ゆかりの地を巡る旅行を計画したり、映画をもう一度観直したり、楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
5	観光が世界をつくる :メディア・身体・リアリティの観光社会学	須藤廣 [ほか] 編著	明石書店	2023	○			○	アニメの舞台とされた土地や、映画のロケ地をそのファンが訪れることが「聖地巡礼」と呼ばれて久しい。当初はファン発信が中心でしたが、今度は地域側の発信でファンを呼び込む動きも。様々な専門家の論文集によって世界と観光の在りようを考えることができます。
6	京都の大路小路	日本アート・センター 編集制作	小学館	2003	○				衣笠山の麓へ、普段何気なく通っている大小の路。 「♪丸竹夷二 押御池 姉三 六角 蛸錦～」で始まる手毬唄などの路には歴史があります。 普段通う路のまた違った一面を覗いて実際に散策してみてください。
7	御朱印でめぐる京都のお寺 (地球の歩き方 / 地球の歩き方編集室編 ; . 御朱印シリーズ ; 2)	地球の歩き方編集室編	学研プラス	2021	○	○			御朱印を既に集めている人や、御朱印に興味があるけどまだ御朱印帳を持っていないという人にもおすすめ。 京都の厳選した117のお寺と、その御朱印をカラーで紹介。お寺の行事・イベントカレンダー付き。あなたの聖地が見つかるかも。気軽に楽しめる1冊です。
8	時代劇聖地巡礼	春日太一著	ミシマ社	2021	○				少しでも時代劇をご覧になった方なら「あ、ここ、時代劇で見た場所だ!」と思えるような、京都とその周辺のロケ地の数々を紹介。 お馴染みの観光地から、何気なく通り過ぎてきた場所まで、「時代劇のロケ地」という切り口を差し込むだけで、「江戸の景色」に変貌するのです。
9	新・京都観光論	永田美江子, 須田寛著	交通新聞社	2022		○		○	「聖地巡礼」は、京都の観光産業に貢献していると思われる一方、観光公害（オーバーツーリズム）の存在も避けては通れないとされています。 身近な京都の違った一面を考えるきっかけにできれば良いのではないのでしょうか。

2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
10	神社巡礼 : マンガ・アニメで人気の「聖地」をめぐる	岡本健監修・著	エクスナレッジ	2014	○				アニメとのかかわりだけでなく、神社内の建物名称、参拝の作法、神職、祈願・祈祷、絵馬、神使、各神社の由来など、神社の基礎的な知識も同時に得られる大変お得な本です。
11	世界の映画の舞台&ロケ地 : 422作品の物語の聖地を旅の雑学とともに歩こう (地球の歩き方BOOKS 旅の図鑑シリーズ)	地球の歩き方編集室著作編集	学研	2023				○	思わずその舞台に行ってみたくなったり、その国の文化に興味を沸かしたりする映画に出会ったことはありませんか？ そんな素敵な422作品の聖地をトリビアとともに紹介している本書で、是非、あなたも登場人物になった気分を味わってみてください。
12	世界美しい聖地とパワースポットをめぐる旅	パイインターナショナル編著	パイインターナショナル	2022		○		○	正統派の聖地巡礼とも言える国内外の「パワースポット」を紹介したガイドブックです。 ○ 何かを成し遂げたい時、健康を願う時、誰かの幸せを祈る時、あなたは何処へ旅したいですか？ この本で美しい写真を眺めて、しばし現実逃避の空想旅行にも。
13	星に仄めかされて	多和田葉子著	講談社	2020	○				三部作の二作目に当たる本書。母国が無くなったという事を北欧で知ってしまった主人公が母国語の話者を求め旅する出会いの物語です。分断された視界から切り開かれていく希望の数々が多様な個性を持つ登場人物達を繋ぎ合わせます。彼らの旅に同行しているかのような、登場人物ごとの章構成も必見です。
14	聖地建築巡礼 : 世界遺産から現代建築まで、73の聖地を巡る旅		エクスナレッジ	2015		○			伊勢神宮やサグラダ・ファミリア、イースター島をはじめ、さまざまな「聖地」に立つ建築物や世界遺産を、写真を通じて紹介する一冊。 写真を通じて、込められた想いや歴史にも触れることができます。

2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
15	聖地巡礼Beginning	内田樹, 釈徹宗著	東京書籍	2013			○	○	大阪・京都・奈良と馴染み深い地の聖地巡礼案内本。 特に京都は「立命館大学」という言葉が文面に出てくるくらい大学の近くを巡礼しています。スピリチュアル系プラタモリの巡礼版という感じで読みやすく、その土地のプチ歴史なども知ることができ、実際に訪れてみたくなる本です。
16	聖地巡礼ツーリズム	星野英紀, 山中弘, 岡本亮輔編	弘文堂	2012	○	○			アニメの聖地から世界宗教の聖地、さらには負の聖地アウシュヴィッツまで、多様なタイプの国内外52の聖地／巡礼とツーリズムの動態を徹底分析。 「動き」、「変化する」現代の聖地／巡礼を解説する新しい聖地巡礼案内です。
17	戦国時代の京都を歩く (歴史の旅)	河内将芳著	吉川弘文館	2014	○		○		天正2年(1574年)に織田信長から上杉謙信へ贈られたと伝えられる国宝『上杉家本洛中洛外図屏風』に描かれた風景を手掛かりに京都を歩こうと試みた一冊。 「戦国時代の京都」と「現在の京都」の比較を楽しめます。 戦国時代の京都に思いを馳せてみませんか。
18	大好きな町に用がある	角田光代著	角川文庫	2022				○	旅好きの作者の思い出が綴られるエッセイ。 人と土地の間には相性、縁があるというが、そんな自分にとって嵌る場所もある種「聖地」と呼べるのではないのでしょうか。そしてそれは旅に出て自己探求をする中で見つかることがあるかもしれません。学生時代にかけてがえのない経験をしに、旅に出ましょう。
19	地域は物語で「10倍」人が集まる : コンテンツツーリズム再発見	増淵敏之, 安田亘宏, 岩崎達也編著; 溝尾良隆 [ほか] 著	生産性出版	2021				○	映画、アニメ、ドラマ、小説、ゲームなどの舞台が観光資源となり、近年、地域の活性化につながる「ツーリズム」が注目されています。 聖地と地域のつながりにも注目するきっかけになるのではないのでしょうか。

## 2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
20	地域創生と観光	陶山計介 [ほか] 編著	千倉書房	2022				○	地域創生における「まち」「ひと」「しごと」づくりと観光・旅行というテーマで、聖地巡礼やアート、地域ブランドといった観点から具体的な取り組みの成果と課題がまとめられています。 いずれも各地の大学生と地元企業や行政、JR西日本等が「産官学連携」として実施したプロジェクトであり、皆さんの学習・研究、活動の参考にもなるはずです。
21	鉄道聖地巡礼 (旅鉄GUIDE 002)	「旅と鉄道」編集部	山と溪谷社	2023		○			アニメやCMに登場する地「聖地」を訪ねるためのガイドブック。 鉄道オタクのみならず、どこかで一度は見たことがある絶景を探して旅に出るのもよいのでは？ 鉄オタではない私も、このうち数か所を訪れたことがあり、おすすめです。
22	平安京の四〇〇年 : 王朝社会の光と陰	朧谷寿, 伊東ひとみ 著	ミネルヴァ書房	2023	○	○		○	2024年大河ドラマ「光る君へ」の舞台となる平安京。物語に登場する紫式部や藤原道長、そして平安京に暮らす人々はどのような生活をしていたのか。史実に基づき、都人の世界へといざなってくれる一冊です。 これを読めば、きっとドラマがもっと面白くなる！
23	本のある空間採集 : 個人書店・私設図書館・ブックカフェの寸法	政木哲也 著	学芸出版社	2023	○	○			私がやってみたい「聖地巡礼」の一つです。 こちらは建築設計・都市研究が専門の工学博士による図書館・書店巡りです。 これはほんの一例なので、皆さんも自分だけの「推し」を究める旅に出かけてみてはいかがでしょうか。

## 2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
24	本尊巡礼 (講座日本の巡礼 第1巻)	真野俊和編	雄山閣出版.	1996	○				日本における「巡礼」とは？ 第1巻では、ご本尊をまつる寺院や堂庵をめぐる巡礼を取り上げています。 宗教行動としてだけでなく、いつの時代からか「楽しみの機会」にもなったようです。 皆さんの「巡礼」にもご利益がありますように。
25	名所・旧跡の解剖図鑑 : 見かたを知れば旅はもっと楽しくなる	スタジオワーク著	エクスナレッジ	2014		○			専門知識はないけれど古建築が好きという人にはワクワクする本。 歴史や宗教背景、建築物の基本的構造解説などもあり。 まだ行ったことのない場所も、既に行ったことのある場所も、この本を持って現地で照らし合わせる旅をしたくなる本です。
26	東京文学散歩 (野田宇太郎文学散歩)	野田宇太郎著	文一総合出版	1977-1978	○				作家が暮らし、文学作品の舞台となった昭和の「東京」を巡ってみませんか？ 雑誌「文藝」の編集責任者（編集長）もつとめた野田宇太郎は、東京だけでなく各地を巡っています。 『「東京文学散歩」を歩く』藤井淑禎著（筑摩書房、2023年）もぜひ一緒に。
27	旅行の世界史 : 人類はどのように旅してきたのか	森貴史著	星海社	2023			○		紀元前の昔から人類は世界を知るために旅に出ていました。宗教における聖地巡礼に始まり、旅は人々の知性・感性を豊かにし、旅の移動手段である自動車・鉄道・航空などテクノロジーを進化させてきました。 旅行の歴史を繙き、学びに繋げてみてはいかがでしょうか。

## 2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
28	旅行者と地域が創造する「ものがたり観光」 : 宇治・伏見観光のいまとこれから	片山明久編著	ミネルヴァ書房	2021				○	『源氏物語』ゆかりの地である宇治。2024年大河ドラマ「光る君へ」の放映を機に、宇治の魅力を伝えるプロジェクトも実施されます。そんな宇治の観光資源や観光ビジネス、宇治市におけるコンテンツツーリズムなどを紹介します。
29	歴史家の案内する滋賀	滋賀県立大学人間文化学部地域文化学科編	文理閣	2021	○		○	○	京都・滋賀・大阪に残る歴史の痕跡を、歴史家ならではの視点で解説する歴史探訪ガイド。 滋賀・大阪は、紹介している史跡が広範囲に渡るため、全てを巡るには時間がかかるかもしれませんが、歴史の舞台となった史跡を訪れるきっかけに。
	歴史家の案内する京都	仁木宏, 山田邦和編著	文理閣	2016	○		○	○	
	歴史家の案内する大阪	仁木宏, 磐下徹編著	文理閣	2021	○		○	○	
30	アニメ聖地巡礼の観光社会学 : コンテンツツーリズムのメディア・コミュニケーション分析	岡本健著	法律文化社	2018	○			○	「アニメ聖地巡礼」を、現代の観光ならびにコミュニケーションの在り方の新たな地平を拓くものとして分析し、観光社会学の枠組みでとらえようとする学術書です。
31	アニメ探訪真聖地巡礼ガイド	聖地巡礼委員会編	カンゼン	2015				○	アニメの物語の舞台やモデルとなった土地。ファンはそれらの場所を「聖地」と呼び、そこを訪れることを「聖地巡礼」と呼びます。ロマン溢れる「聖地巡礼」のお供にぜひ！！



## 2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
32	いま私たちをつなぐもの ：拡張現実時代の観光とメディア	山田義裕, 岡本亮輔編	弘文堂	2021	○			○	「旅先でつかまえたポケモンはおみやげになりますか？」「オンライン・ツーリズムは観光なのか」（いずれも本文より）。拡張現実時代の観光とメディアの在り方、意識や行動変容など、様々な事例にもとづき理論と実践の両面から考察されています。
33	オタク文化と宗教の臨界 ：情報・消費・場所をめぐる宗教社会学的研究	今井信治著	晃洋書房	2018				○	いまや経済効果が何億円という見立ても出ているオタク文化。こちらは宗教研究者の立場からオタク文化を学術的な視点で論述しています。角度を変えて理解を試みる、皆さんの学習や研究の参考にいかがでしょうか。
34	クリエイティブツーリズム ：「あの人」に会いに行く旅	友原嘉彦編著	古今書院	2022		○			何度でも訪れたいくなる、サードプレイス（家庭でも学校・職場でもない第3の場所）となる旅行先とは？「あの人が暮らした町に行く」、「持続可能なクリエイティブエリアの共創」などから創造的な観光について考える本です。
35	ゴッホのひまわり全点謎解きの旅	朽木ゆり子著	集英社	2014	○			○	ゴッホ（Vincent van Gogh）の「ひまわり」は、世界の名画の中で最も有名で親しみのある絵画です。ゴッホの代表作「ひまわり」11作品について、それぞれの背景や謎、ゴッホの意図に思いを馳せ、世界中に散らばっているゴッホ「ひまわり」を見に、巡礼の旅に出かけましょう。
36	ゴッホの地図帖 ：ヨーロッパをめぐる旅	ニーンケ・デーネカン プ, ルネ・ファン・ブレ ルク, タイオ・メーデン ドルプ著；ファン・ゴッ ホ美術館編	講談社	2016				○	「ゴッホ」（Vincent van Gogh）、絵画好きもそうでない人も、多くの人が知っている画家のひとり、一度は作品を目にしているのではないのでしょうか。ゴッホの作品や年表、古い地図、写真を使って、ゴッホの足跡を辿っていく素敵な本です。ゴッホと一緒に19世紀後半のヨーロッパを旅してみませんか。



## 2023年度Beyond Borders展示資料一覧 テーマ「聖地巡礼」

※○が入っている館が展示館です。平井…平井嘉一郎記念図書館、MDC…メディアセンター、MDL…メディアライブラリー、OIC…OICライブラリー

No.	タイトル	著者	出版社	出版年	展示館				推薦コメント
					平井	MDC	MDL	OIC	
37	コンテンツ・ツーリズムとは何か (物語を旅するひとびと)	増淵敏之著	彩流社	2010	○		○		アニメやマンガなど好きな作品の舞台を巡る旅、所謂「聖地巡礼」。地域経済への影響も大きく、ニュースで取り上げられることもあります。 コンテンツ・ツーリズムの歴史から、近年の成功事例も紹介されており、「コンテンツ・ツーリズム」を知るきっかけになるのではないのでしょうか。
38	コンテンツツーリズム研究 : アニメ・マンガ・ゲームと観光・文化・社会	岡本健編著	福村出版	2019	○		○		文学や映画、マンガなどの作品の舞台を訪れる観光行動であるコンテンツツーリズム。 アニメ聖地巡礼など、身近な事例が紹介されており、幅広く学ぶことができます。 発展し続けるコンテンツツーリズム研究の多様性や面白さを味わえる1冊です。
40	ファンカルチャーのデザイン : 彼女らはいかに学び、創り、「推す」のか (越境する認知科学)	岡部大介著	共立出版	2021	○			○	聖地巡礼とは古から繰り返されてきた行いで、現代でも宗教的な行為からカルチャー的な行為として多様化しています。 本書は「推し」を認知科学的に論じようという意欲的な書籍です。誰にでもある「推し」の対象について改めて思いを巡らせてみませんか。
41	フェルメール全点踏破の旅	朽木ゆり子著	集英社	2006	○		○		フェルメール (Johannes Vermeer) は、世界中の人から愛されている17世紀オランダの画家です。作品数は少なく30数点余りとされていて、また贋作や盗難、ナチスの略奪といった側面も持ちあわせています。 これらフェルメールの全作品を訪ねて世界の美術館へ巡礼の旅に出かけませんか。
42	メッカ : 聖地の素顔	野町和嘉著	岩波書店	2002	○			○	メッカは言わずと知れたイスラム教の聖地で、毎年200万人が巡礼に訪れる場所です。 ムスリム以外立ち入ることの許されないこの場所を撮るために、改宗して臨んだカメラマンによる圧巻の記録。巡礼の迫力や美しさに触れながら、その裏にあるこの場所の矛盾についても感じてほしい。